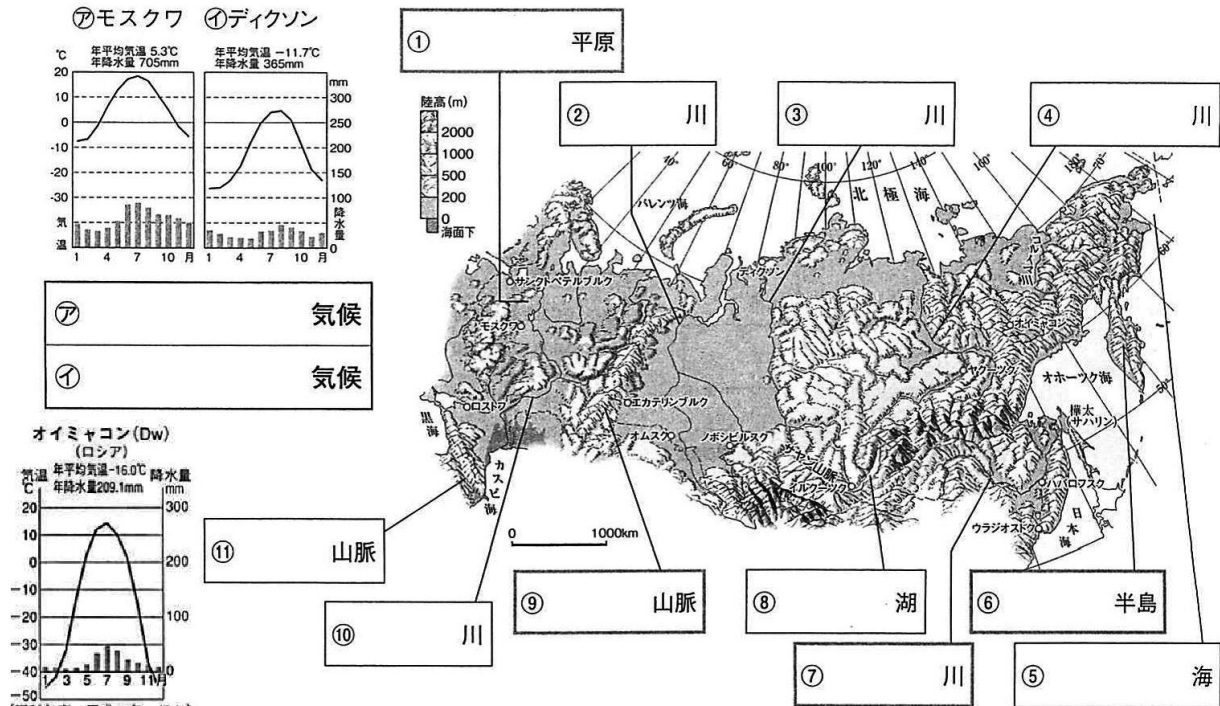


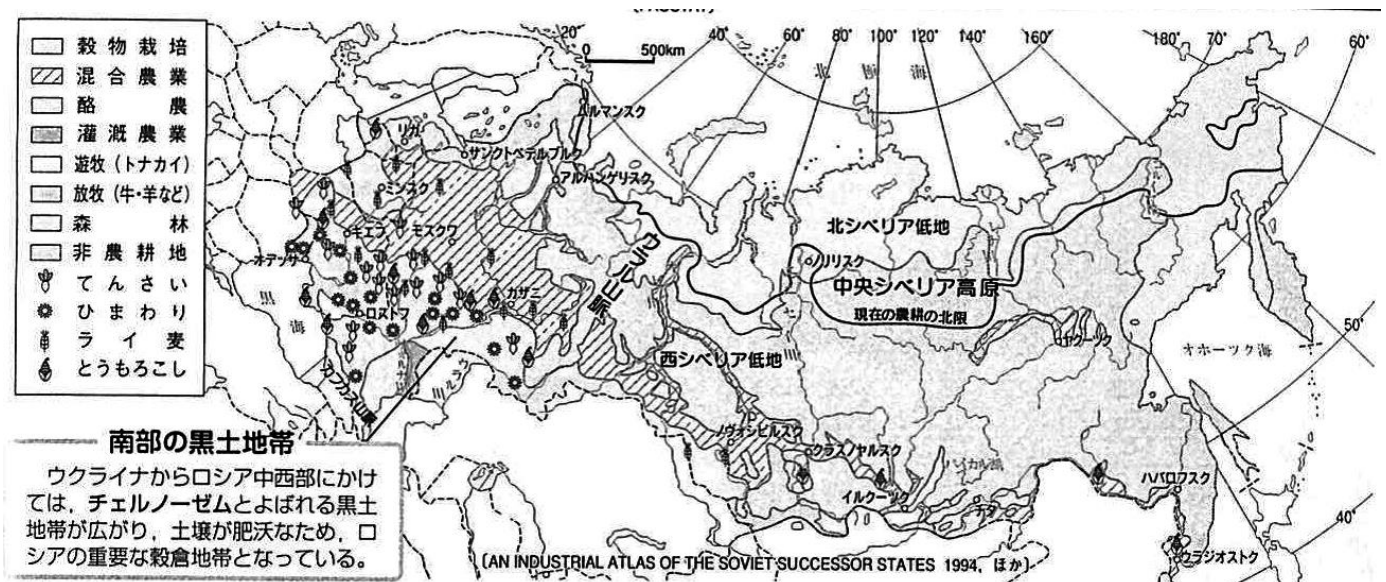
○今回のポイント

1. ロシアの自然環境



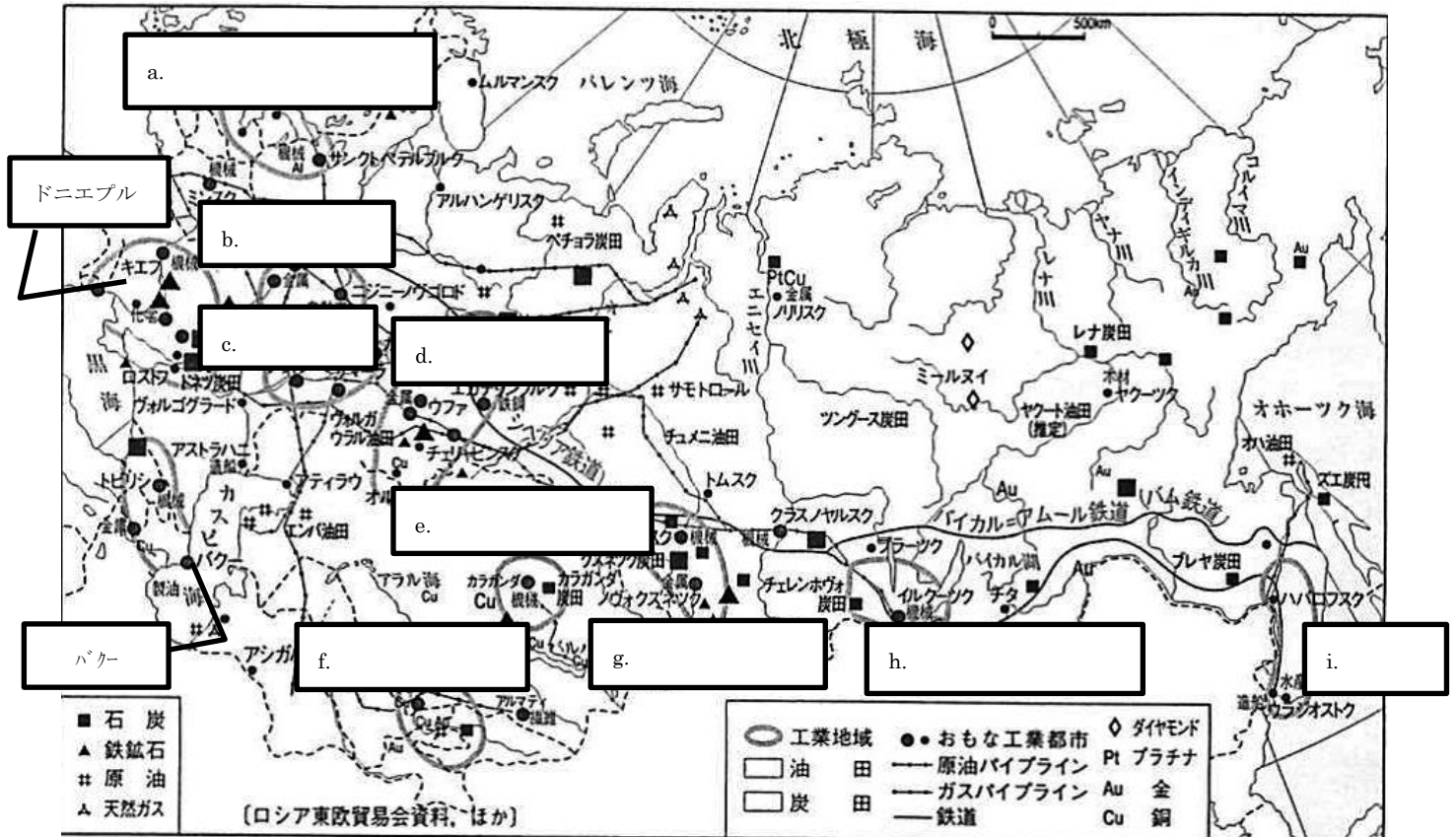
ヨーロッパロシア	安定陸塊のロシア楕状地。東ヨーロッパ平原は構造平野。ウラル山脈は古期造山帯。最寒月は-3℃未満で最暖月は10℃以上、年間降雨のため[① ]。
シベリア北部	ウラル山脈西川は冷帯湿潤気候だが、北部は[② ](冰雪や凍土に覆われているが夏になると0℃を超え、コケ類やシダ類が生える気候)になる。
シベリア東部	大陸性の気候で冬に [③ ]におおわれるので [④ ]。植生は針葉樹林のタイガ。気温の年較差がきわめて大きく、オイミャコンは北半球で最低気温を記録した地点。

2. ロシアの農業(資 p. 77)



- a. 穀物栽培地域…ウクライナ南部～西シベリア。[⑤]の黒色土壌[⑥]で小麦
- b.[⑦]地域…ライ麦・ジャガイモ・豚の飼育を行う。チェルノーゼムより北の地域。
- c.[⑧]の遊牧…農耕限界以北の北シベリアの[⑨]地帯で見られる。
- d. 酪農…大陸氷河の影響を受け、やせ地が広がる[⑩]沿岸地域で見られる。
- e.[⑪]…モスクワなどの大都市に住む人々が郊外に所有する自家菜園付きの別荘。

### 3. ロシアの工業(資 p. 118)



- (1)[⑫] (ロシア語で「結合」)…ソ連時代、広大な領土から産出される種々の資源を水運や鉄道で結びつけようとした。原料輸送で巨額の費用がかかり効率の良いものではなかった。
- (2) 資源と鉱産物…ロシアには豊富な[⑬]と[⑭]。近年の原油価格の高騰で、経済発展を実現。広大な領土と豊富な資源、労働力があるため、BRICsとして注目される。
- (3) ロシアの工業地域

サンクトペテルブルク	[⑮]に面する港湾・商工業都市。造船・精密の他、総合的。
モスクワ	[⑯]以前から工業発達。精密・電気・繊維・化学等、総合的。
ドニエプル	ウクライナ。[⑰]とクリヴォイログ鉄山。鉄鋼業中心の重化学工業。
バクー	[⑱]。バクー油田とカスピ海沿岸の原油。石油化学。
ヴォルガ	ロシアの母なる川である[⑲]周辺。水運が発展。
ウラル	ウラル山脈中心。種々の[⑳]を有する。機械工業。
カラガンダ	[㉑]。カラガンダ炭田を背景に鉄鋼業。
中央アジア	世界有数の綿花生産国[㉒]を中心に綿工業。
クズネツク	[㉓]。シベリア最大の工業地域。金属・機械・化学。
アンガラ・バイカル	バイカル湖とアンガラ川周辺。製鉄・[㉔](やきん)・製紙・パルプ。
極東	森林資源⇒パルプ、水産資源⇒食品加工。石油や天然ガスの[㉕]